

第15回 JCOMM 松江大会の開催について

歴史まちづくり部交通政策課

1 主意

令和元年度 一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議（以下「MM 会議」という）通常総会（7月20日金沢市）において、第15回 JCOMM 大会を松江市で開催することが決定された。

「令和2年7月17日（金）、18日（土） 於：島根県民会館」

2 MM 会議の概要

モビリティ・マネジメント（以下「MM」）の技術開発、普及支援を目的とし、様々な事業を行うため、個人・団体により設立された法人。主要事業のひとつとして毎年 JCOMM 大会を開催している。

【代表理事】 藤井 聡 京都大学大学院工学研究科教授

「山陰新幹線整備推進市町村会議」オブザーバー、「伯備新幹線整備推進会議」アドバイザー

3 JCOMM 大会の概要

行政、大学関係者、コンサルタント等、MM の関係者が一堂に会し、講演、事例発表、研究発表等を行う会議で、平成18年度から、年 1 回開催されており、400人程度の規模となっている。

4 松江市での開催となった経緯

「10年以上にわたるノーマイカーウィークの実施」及び「グリーンスローモビリティを活用した交通サービスの推進」などの MM 施策、並びに近年の『山陰・伯備新幹線』整備推進の取り組み」等が、藤井代表理事をはじめ、以下の関係者等から評価され、推薦を受けたもの。

- ・呉工業高等専門学校 神田佑亮 教授（松江市の MM にコンサルタント会社勤務時より関わる）
- ・島根大学法文学部 飯野公央 准教授（松江市公共交通利用促進市民会議会長）

5 JCOMM 大会の運営

MM 会議及び開催地の会員企業並びに大学関係者等による実行委員会で運営。

松江大会は（株）バイタルリード及び飯野准教授が運営に加わる。

6 松江市の役割

- ・市長祝辞（初日開会時）
- ・担当職員による講演、事例発表等（初日午前）
- ・市長歓迎挨拶（初日レセプション時）
- ・運営のサポート

7 松江市としての予算措置

MM 会議予算において実施されるため、開催地の自治体の負担は基本的に発生しない。例年、実行委員会が開催地のコンベンション補助金を申請し、運営予算に充てている。

8 その他

MM 会議は、MM に関する取り組みや研究の中から、特に優秀な個人・団体を表彰している。

松江市は、平成22年度に JCOMM 賞を受賞している。